

2023 年度 甲南大学大学院 入試問題

区分	研究科	専攻	試験科目	試験時間	試験日
修士一般 (1次募集)	社会科学 研究科	経済学専攻 税理コース	専門 (租税法)	60分	2022年9月3日

次の問題から1問を選択して論述しなさい。

- 1 租税法律主義の視点から、租税法の国内法源（租税に関する法の存在形式）について論じて下さい。

- 2 以下の事例問題について、設問の指示に従い解答して下さい。

（事案の概要）

内国法人の甲社は、3月決算法人であるが、令和4年3月期において、その有するA社の有価証券（売買時の時価3千万円、取得価額1千万円）を、内国法人である乙社（甲の子会社）に、上記時価よりも低い価額である2千万円で譲渡した。

この譲渡につき甲社は、有価証券の譲渡益として1千万円（＝2千万円－1千万円）を計上し、法人税の申告を行った。

その後、甲社は所轄税務署の税務調査の結果、上記令和4年3月期の乙社への当該有価証券の譲渡について、更正処分を受けた。

（設問）

甲社の行った当該有価証券の譲渡に係る処理は、法人税法上の正しい処理として認められるか。所轄税務署長が行った更正処分について、処分理由となった法人税法上の根拠規定について説明して下さい。